

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード 820100 TEL 2998-9238							
事業コード 820101	学力向上支援講師配置事業	担当部課 学校教育課							
開始年度 平成27年度	→	終了年度 年度							
グループ 教職員担当									
②事業の概要	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加 分野別計画・指針 関連・類似事業 学習支援員配置事業 特別支援教育支援員配置事業 総合計画の体系 章 教育・文化・スポーツ 節 学校教育 基本方針 確かな学力と自立する力の育成 事業開始の背景 教育委員会では、一人一人の児童生徒に「生きる力」の育成を目指し、個に応じた指導の充実を図るため、支援員等の充実に努めてきた。学校では、授業時数の増加をはじめ、多様化する校務に尽力しているが、教員が教材研究等、授業準備の時間を生み出し、学び創造プランを充実させること、また、教員が児童生徒と向き合う時間を増やし、よりきめ細かな指導を実現させることが課題となっている。併せて、教員の多忙感の軽減を図ることも喫緊の課題となっている。そこで、課題解決のために、単独で授業ができる市費負担講師配置事業を行うこととした。		根拠法令 所沢市学力向上支援講師設置要綱						
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 単独で授業ができる講師を配置し、教員が教材研究等授業準備の時間や児童生徒と向き合う時間を増やし、よりきめ細かな指導を実現させることによって児童生徒の学力向上を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位						
	配置校在籍児童・生徒 ※5月1日現在	平成 26 年度	平成 27 年度						
			4,681 人						
	事業の具体的な内容及び実施方法 単独で授業ができる教員有資格者を小学校4校、中学校4校に配置し、各学校の実情に応じて授業の一部を担当するとともに校務の補助等を行う。 勤務時間:1日6時間勤務 勤務日数:1年あたり220日以内								
④経費	<会計種別> 一般会計 当初予算 決算(見込み含む) (非常勤特別職員) (臨時任用職員) 正規職員人件費 事業費合計 財源内訳 一般財源 国・県支出金 その他	平成 26 年度 (千円) () 人 () 人 0 0	平成 27 年度 (千円) (8.00 人) () 人 0.20 人 18,087	平成 28 年度 (千円) 21,000 16,355 () 人 1,732 18,087 21,000 0 0					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。 </div>								
⑤実績	項目名 学力向上支援講師採用人数	項目説明 学力向上支援講師採用人数	単位 人	H 26 /	H 27 8	H28見込み 10	将来目標 10		
⑥成果	項目名 成果指標	項目説明 満足度(①大変良い、②良い、③やや悪い、④悪いの4段階で調査)	単位 %	H 26 /	H 27 100	H28目標値 100	将来目標 100		
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	100	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	↑どちらかをチェックしてください		
⑦改善点	(1) 平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)		(2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析						
	※平成27年度からの新規事業であるため、来年度の評価表から記載。		-						
⑧評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了 方 向 性	事業実施方法(複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他 次年度予算 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由 よりきめ細かな指導を実現し、児童生徒の学力の向上を図ることを目的としているが、そのためには配置人数を増やし、配置できる学校数を増やしていくことが必要であるため、人数の増員を検討している。	理由 配置できる学校数を増やしていくことが必要であり、増員を図る必要があるため。	(1) 平成28年度に取り組んでいる状況 昨年度の配置人数から2名増員し、10名の学力向上支援講師を小学校4校、中学校6校に配置している。配置校の教育活動の充実に非常に効果がある。			(2) 今後の方向性 教員の授業準備時間や児童生徒と向き合う時間を増やし、よりきめ細かな指導をさらに実現させていくために、増員配置等により事業を拡大していく。	
	評価日	H28.8.19	評価者職氏名	学校教育課長 堺 俊彦					
⑨環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙・自動車の使用		規制を受ける環境法令等	無		
						緊急事態	無		